



社明運動のシンボルマーク

保護司会報

吹田

発行

吹田地区保護司会

吹田市泉町1丁目3番40号
吹田市役所福祉総務室
電話 6384-1363(直通)



迎春

▲三色彩道（藤白台）



新年のご挨拶

吹田地区保護司会 会長 吉川 英次

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は更生保護活動にご尽力いただき心より敬意を表しますとともに感謝しお礼申し上げます。

昨年はコロナが5類になり、保護司活動はもとより社会・経済活動が戻りつつあります。一方ウクライナでの戦争はいまだ続いており、加えて中東で新たな戦禍が拡大し、罪のない人々や子どもたちが犠牲になる大変いたましい状況になっており戦争の早期終結を願うばかりです。

さて、大阪府の刑法犯の認知件数はこれまで20年間減少傾向にありましたが、令和4年度は増加に転じ、令和5年度上半期も増加傾向にあります。また、検挙者数の半数近くが再犯者であり引き続き再犯防止が喫緊の課題になっています。吹田市においても一昨年に再犯防止計画を策定していたが、保護司会と連携して安心・安全の町づくりに取り組んでいただいているところです。再犯者の現況をみますと刑期満了者に比べ保護観察終了者の再犯率が低くなっているなど、保護司が重要な役割を担っています。しかしながら、昨今の社会状況の急激な変化など、様々な理由から保護司適任者の確保が困難な状況となっており、推薦・委嘱手順・年齢要件・職務内容の在り方など検討

すべき課題が山積しております。

こうしたことから、国は昨年5月に「持続可能な保護司制度の確立に向けた検討会」を立ち上げました。委員会には保護司や大学教授などの有識者が参加されており、昨年、検討課題について全国の保護司会へ意見聴取が行われたところです。この検討会では令和7年の報告書の確定に向け鋭意作業を進めておられ、その後必要に応じて保護司法など、関連法令の見直しがなされると側聞しております。

また、一昨年末には受刑者のスムーズな社会復帰を見据えた改正刑法、更生保護法等が施行されるとともに今後、第二次再犯防止推進計画において保護観察終了者への支援や出所者が社会で孤立することなく、個々の事情に応じ、生活の安定が図られることを基本方針として「息の長い支援」がなされるなどが示されております。

吹田地区保護司会としても、こうしたことを念頭に活動するとともに、保護司確保に向け吹田青年会議所との連携に取り組んでまいります。結びに、吹田市はもとより保護観察所、更生保護女性会など関係機関とより一層連携を密にし、犯罪のない明るい社会の実現に向け活動してまいりたいと考えております。今年も引き続き皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

吹田市長 後藤 圭二

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

吹田地区保護司会におかれましては、日頃より犯罪予防活動や更生保護活動を通じた青少年の心身の健全育成などにより、本市の安心・安全なまちづくりに格別のご尽力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症による影響がようやく落ち着き始め、「“第73回社会を明るくする運動”市民集会」が盛大に開催されるとともに、多くの市民の皆様のご参加のもと、18の地区において「地域集会」が開催されました。このように本運動の啓発がなされ、明るい地域社会の実現に向けて日々活動していただいておりますことに、心よりお礼申し上げます。

さて、近年では主に高齢者を狙った特殊詐欺が多発しています。また、SNS等により高額な報酬

で犯罪の実行者を募る、いわゆる「闇バイト」が社会問題となっており、未成年が非行に走る事案も多く見受けられます。本市では特殊詐欺の被害件数が府内でも多いことから、こうした犯罪の被害の撲滅を図るため、吹田警察署や関係機関と連携しながら様々な対策を集中的に実施してきました。

今後とも、保護司の皆様方をはじめ、更生保護に関わる全ての方々と連携を深め、誰もが安心して暮らせる、犯罪や非行のない明るい社会の実現に向けた取組を進めてまいります。引き続き、皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、吹田地区保護司会の皆様方のますますのご健勝、ご活躍をお祈り申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますことを心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

大阪保護観察所長 古山 正成

新年、明けましておめでとうございます。

吹田地区の保護司の皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。また、平素から、更生保護に対し、多大なるご尽力を賜っておりますことに、厚くお礼を申し上げます。特に、この3年間、コロナ禍において、様々な面で制約がある中、不安を抱えながらも、目の前の犯罪や非行をした人の立ち直りのため、熱心に活動を続けてこられたことに、改めて感謝申し上げます。

さて、令和5年に警察庁が「令和4年の犯罪情勢」を発表し、20年ぶりに刑法犯の認知件数が増加に転じたということが報じられました。その内容は、自転車盗や傷害、暴行といった街頭犯罪の増加が著しく、特殊詐欺やDV、児童虐待なども増えているというものです。これは、コロナ禍による行動制限が緩和され、人の流れが変化したこ

とだけでなく、社会の分断や孤立化の助長などに、コロナ禍が拍車を掛けてきた結果ではないかと考えられます。

このような中で、保護観察対象者等の再犯・再非行を防止し、社会復帰を支えていくという、更生保護に期待される社会的役割は、ますます重要となっており、それを担っていただいております保護司の皆様は、地域社会の安心・安全のために欠かすことのできないものとなってきております。

保護観察所といたしましても、皆様方と一緒に、地域の安心・安全のために精一杯努めてまいりたいと考えておりますので、本年も、引き続き、皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様方にとりまして、良い一年になりますことをご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

吹田警察署長 川畑 慶和

新年、明けましておめでとうございます。

吹田地区保護司会の皆様には、日頃から犯罪や非行防止また更生保護活動にご尽力賜り、誠にありがとうございます。

昨年、世界的には、地球沸騰化、欧州・中東等の紛争激化、国内では、猛暑・記録的豪雨、物価高など枚挙にいとまがない一年でした。

当市内では、高齢者からキャッシュカード等を騙し取る特殊詐欺や大麻乱用が、特に若者の間で浸透しており、当署の喫緊の課題となっています。

若者は、「過剰な情報量」と「タイムパフォーマンス」の渦中にあり、アルバイト感覚やストレス発散で、安易に一線を越えてしまうのが特徴で、

一線を越えると再犯に直結します。

生命や身体に関わるこの種の犯罪は、再犯防止が鍵であり、保護司の皆様方の更生保護活動は、何にもまして期待されるところです。

地域社会の希薄化などから保護司の担い手不足や高齢化等、保護司制度の見直しが叫ばれる中、彼らを引き留めているのは、「本気で気にかけてくれる地元の大人」である皆様との直のつながりによる絆に他なりません。

コロナ禍明けを実感し、猛暑も遠い記憶となり、寒さのありがたみを感じる今冬となりましたが、犯罪に無縁な吹田市を見据え、本年も、皆様と一体となって取り組んで参りたいと思います。



新年のご挨拶

吹田地区更生保護女性会 会長 住吉 比和子

明けましておめでとうございます。吹田地区保護司会の皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は当会の活動にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は各地に異常気象をもたらし、身の危険を及ぼす猛暑に見舞われました。そのような中においても少しずつできることを念頭に行事を進めて参りました。

昨今、少子高齢化や地域の“つながり”の希薄化、また、さまざまな感染症の影響で閉塞感も感じています。何とか苦境をプラス思考に切り替えて行きたいものです。

新しい年が平穏な年になりますように、念じます。

大阪更生保護女性連盟の活動のテーマは

「ひろげよう、つづけよう、つなげよう更生保護の“わ”」～あたたかな人間愛をもって明るい社会を～

令和6年も皆様と共に「心の和」を大切に「活動の輪」を広げ、つなげて行きたい、また、できる時にできる人ができることを、肩肘を張らず健康で楽しく活動していきたいと思っております。そして、更生保護に軸足を置き、地域に必要とされる更生保護女性会に成れるよう、会員の皆様と関係団体の皆様と力を合わせ頑張って参ります。

これからも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、吹田地区保護司会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

吹田BBS会 会長 由上 大祐

新年あけましておめでとうございます。吹田地区保護司会の皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて昨今、SNS等の普及により、子どもたちを取り巻く環境が急激に変化しました。それに伴い、人間関係が希薄となる時代背景の中で孤立し、不幸にも非行や犯罪に陥る子どもたちもいます。

再び立ち直ろうとする子どもたちを私たちも微

力ながら手助けすることで、ほんの少しでも地域社会を明るくできるよう、精進して参ります。

本年度も保護司会の皆様にはお力添え賜ることもありますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに、吹田地区保護司会の益々のご発展と皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

各ブロックだより

第1ブロック (第三中学校、第五中学校、第六中学校)

第1ブロックはJR以南地域で、JR吹田駅、阪急吹田駅、新しくできた南吹田駅を有する旧市街地です。会員は現在13名おり、地域各種団体と連携を取りながら、幅広く活動しています。

以前より中学校との連携を深めるため、中学校区ごとにその地域の保護司が情報交換会を行い、中学生の現状や学校の取り組み、地域の非行防止等について情報共有を図っています。

7月の「社会を明るくする運動」では、小学校区ごとに地域集会を実施して、多くの地域の方々に更生保護活動について周知することができました。

本年は、コロナ禍でしばらく開催できなかったブロック会議を新しいメンバーを迎えて開催し、

親睦を深めることができました。これからも、会員同士のコミュニケーションを大切にしながら更生保護活動に励んでいきます。



第2ブロック (第一中学校、豊津中学校、豊津西中学校)

第2ブロックの北側は第一中学校校区で閑静な住宅街が広がり落ち着いた様子を見せています。西側は豊津西中学校校区で江坂の繁華街を含み、高層ビルに囲まれた活発な商業地域でもあります。東側は豊津中学校校区で繁華街に隣接する場所でもあります。古くからの一軒家の町並みとマンションが混在する新旧の混じった街でもあります。

今年度は、コロナ禍の影響を引きずり数年できなかった交流会の間に学校体制がほとんどの学校で変わってしまいました。学校に連絡を取るにも管理職が全て代わり、体制が落ち着くまで待ってくださいと言われ続けました。

そのため今年度は学校とのブロック研修を含め連携学習会も未だ行えない状況でありました。また、諸事情でブロック交流会も行っていないです。

新年度に向けこれからも交流会を進めていく所存です。

そして、サポートセンターの第2ブロックの人数確保に論議を深めて模索を皆様と推し進めたいと思っています。



第3ブロック (第二中学校、佐井寺中学校、片山中学校)

コロナ禍が明けて市民体育祭、公民館文化祭などいろいろな行事が3～4年ぶりに再開されていますが、この間のブランクは大きく、以前と全く同じ内容では実施できず、中身の縮小や簡略化、

時間の短縮などが余儀なくされています。参加者も以前のレベルには戻っていないのが現状です。

しかし、子ども達を対象にした行事に関しては、たくさんの子どもが心から楽しそうに参加してく

れています。コロナで行事の中止やいろいろな規制がされてきた中で、本当に楽しみにしていたことがわかります。コロナ禍の影響は、行事の中止だけでなく、子ども達の心にも大きな影響を与えたような気がします。人間関係のトラブルや不登校など、以前より増えているような気がしますし、内容も複雑になっています。

第3ブロックでは9月に久しぶりに情報交換会を開催することができ、それぞれの担当ケースについて報告や意見交換を行いました。以前より複雑化するケースについて、これからもみんなで検

討していきたいと思っています。



第4ブロック (千里丘中学校、山田中学校、山田東中学校、西山田中学校)

マスク着用・少人数・時間短縮など、コロナ禍の制約を受けながらも、昨年度から行事を再開することができました。

再開した「社明地域集会」や「中学校との交流会」の中で語られたことは、子ども・生徒の抱える課題が変わったことや、運動会などの学校行事で書面には残されていない手順などが抜けていて大変だったことなどでした。

コロナ禍で起こったことは「何もできなかった時間がただ過ぎた」ことではありませんでした。

今年の夏にブロックで懇親会を行いました。「対象者」にどう接しているかなどの身近なことから「保護司とは何か」まで久しぶりに多くを語り合い

ました。人と人が対面で語り合える大切さを感じました。コロナ禍で失ったもの、それは語り合う時間だったと今は感じています。



第5ブロック (南千里中学校、高野台中学校、竹見台中学校、古江台中学校、青山台中学校)

吹田市北西地域の5つの中学校区を抱えるブロックです。ニュータウンとして発足した街も建て替えが進み、新しい顔を見せはじめています。

現在12人の保護司が更生保護に取り組んでいますが、一堂に会する機会も減り、今年度の中学校との交流は各校単位で行うこととしました。これはより深く地域を知り、連携をとりつつ若年化する犯罪防止へのアプローチになる試みとしては、良い形になったのではないかと思います。今後もいろいろな形で中学校と繋がりを広め、深めることができればよいと思っています。

地域の他団体と行事などを通して活動することも多く、高い意識のもと健全な街づくりの一助を

担っていきます。

が、まずは自身の安全、健康あってこそ。最初の第一歩です。



安心・安全を体感できる生活



大阪保護観察所 保護観察官 野路 加奈子

保護司の皆様におかれましては、平素より更生保護活動にご尽力を賜り、誠にありがとうございます。また、地域の関係機関の方々には、それぞれのお立場から、更生保護活動にご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

更生保護活動は、保護観察、生活環境の調整、犯罪予防活動である“社会を明るくする運動”等、多岐にわたります。

保護観察や生活環境の調整において、罪や非行をした人が再び罪や非行をしないこと、犯罪被害を増やさないことが重要です。更生保護活動が、すべての人にとって安心・安全を体感できる生活を送ることに資するよう、努めて参りたいと思います。

保護観察において、保護観察対象者との出会いは、始まりは法的枠組みによるものですし、面接では、法律に違反する行為をしないこと、ルールや約束を守ることの重要性を指導する必要があります。一方で、面接においては、対象者の生活状況等について話をする中で、互いの思いや考えを伝え合い、人と人との関わりが深まる場ともなっていると感じています。

私はこの仕事を通じて、保護司の皆様か

ら、人を大切に思う気持ち、人に多様な考えや視点を伝える方法を学ばせていただいております。人が生活をしていく中で、誰しもが、居場所、人間関係等の様々な問題や悩みを抱える可能性があります。複雑な事情が重なり、対処が難しい状況に置かれたとき、自暴自棄になったり、人や物を傷つけたりすることなく、どう対処することが適切なのか。どのように受け止め、どのように行動していくのがよいのか。保護観察の面接で、様々な問題や悩みをすぐさま解決するのは難しいですが、保護司の皆様に、人に対する丁寧さ、根気強さ、ときには温かさに裏付けされた厳しさをもって関わりを続けていただいていることは、過ちを犯した人の立ち直りを支え、安心・安全を体感できる社会や人々の生活を支える大切な活動であると感じております。

社会制度や人の価値観は目まぐるしく変わり、各種法律の改正に伴い、更生保護の処遇活動にもより一層の充実と対策が必要となります。課題に真摯に取り組む、よりよい対策に繋がるよう努めて参る所存ですので、今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

退任保護司

10年間を振り返って

退任保護司 芝崎 龍彦

前任の柴田先生のご推挙で、保護司を拝命し約10年間活動させていただきました。吹田市少年野球協会の役員や地元のチームの世話をしたり、自治会長などをしましたが、保護司活動は全く違う世界で戸惑いました。

しかし、先輩保護司のご指導をいただいたり、研修会を通じて勉強して保護司としての自信をもって活動いたしました。この度、2年延長の要請には、体力の衰えを感じ辞退させていただきました。

振り返りますと、2つ気になりました。私は少年を担当することが多かったです。彼らの保護者は、頑張って少年を育てておられました。しかし、仕事で家を空ける時間も多く、少年た

ちの生活リズムは徐々に不規則になっていきました。昼夜逆転した少年たちは、夜が寂しいので携帯電話で友人と連絡を取り合い無免許でオートバイを運転し事故や取り締まりで観察処分になるケースが多かったように思います。

保護者と一緒にあたたかい家庭を作る必要をひしひしと感じました。

もう1つは、出所した時に出る作業報奨金が少額過ぎることです。これでは再犯をしても不思議ではないと思いました。彼らの更生のために増額を考慮する必要があると思います。

最後に、吹田地区保護司会の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念しましてご挨拶とさせていただきます。

幾多の出会いに感謝

退任保護司 村田 紘一

私が教職についた頃は、全国的に学校が荒れていました。廊下をバイクで走り回る卒業生がいたりして、在校生も腰の落着ける状況ではありませんでした。先生方も用がなければ帰られる方も多くおられました。クラブを終えて職員室に戻ってくる先生方と、どのように指導していくかを話し合いました。そのうち、職員室に話をしにくる子が増えて、学校は次第に落ち着きを取りもどしてきました。私はじっくり子ども達と接したかったのに、2年連続3年生とか、3年連続3年生とか、ほとんど3年生の担任で終えることになったのは残念ですが、今では毎年のように還暦同窓会に招かれて感謝しております。

こういった学校であったから、生徒の中には保護司さんのお世話になる子どももいました。ただ、ありがたかったのは子ども達が「今日は保護司さんのところに行かなあかんねん」とあっけらかんと言ってくれることが、子どもの状況を知ることにつながり助かりました。その

ことから、校長として赴任した学校においても、保護司さんとの連携に心をいただきました。

当時、卒業式には表でパトカーが待機している学校もありましたが、私の学校では全くそんな必要はありませんでした。というのも卒業式前夜、ごんた達を集めて卒業パーティーを開いてやったので、翌日の卒業式にはごんた達も、涙、涙のうちに卒業していくことが恒例になっていきました。学年によっては昼すぎから夕方までフォークダンスに興じる学年もありました。

先年、そうしたごんたの1人が、死期の近づいたある夜、友達何人かと、彼のビルの屋上で焼肉パーティーに招いてくれました。残念で、なんとも言えない経験となりました。

私の保護司生活の大半は青少年の担当だったので、できるだけ心のつながりを求めました。どこまでできたかは分かりませんが、無事に卒業を迎えることができた今日、お世話になった観察官の方々、対象者の皆さんに感謝しております。

令和5年度受賞者



藍綬褒章を拝受して

吹田地区保護司会 顧問 福永 哲哉

この度、令和5年秋の褒章に際して、はからずも藍綬褒章の栄に浴しました。
この榮譽には、観察官を始め保護観察所の皆様のご指導、吹田地区保護司会
や事務局の皆様のご支援の賜と深く感謝しております。

保護司に任命されて以来、対象者と向き合い、更生保護に尽力してきました。
この受章を励みに、さらに保護司会の皆様や地域の皆様と協力しながら、更生
保護活動に精進していきたいと改めて思いました。

この度の受章において、皇居に参宮し、春秋の間において、天皇陛下からお
言葉を賜りました。このことは一生の宝物になりました。

結びに、皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

人事往来

(敬称略、順不同)

定年退任保護司

令和5年1月24日付 令和5年5月24日付



芝崎 龍彦



村田 紘一

転出保護司

狩野 修

(令和5年7月1日付)

訃報

心からお悔やみ申し上げます。

佐々木 進 様

北摂ブロック保護司会会長会議 (幹事地区)

令和5年3月に閣議決定された第二次再犯防止推進計画において、地方公共団体の再犯防止推進計画策定に向けた支援や再犯防止に向けた取組の重要性が改めて示されました。

これを受け、去年の6月に開催された北摂ブロック保護司会会長会議では、各地区における再犯防止推進計画の策定状況や各自治体との連携状況の情報共有を行うこととしました。

吹田を含む8地区が再犯防止計画を策定・推進しており、内容について意見交換を行うなど有意義な会議となりました。また、自治体と連携して就労支援を行っている取組も多く見られました。

各地区がお互いの取組内容を参考にし、自治体と協力して更生保護活動や就労支援に取り組んでいくことで、北摂一帯がより暮らしやすい地域になることを願います。



管外研修会

春季研修 6月22日(木) 更生保護法人 泉州寮

春季研修は近畿地方唯一の青少年専門の更生施設である岸和田市の泉州寮に伺いました。

コロナ禍が落ち着いてきた状況を考慮し、今年度からバスでの移動を再開しました。

施設長から泉州寮の歴史や寮生の生活スケジュールについてご説明いただいた後、寮内や併設されている自動車整備工場の見学をさせていただきました。こちらの工場では職場体験講習を行っており、寮生活の様子だけでなく、更生保護を行う上で重要な就労支援について理解を深めることができました。

また、当日は刑務所作業製品の展示即売会を実施しており、受刑者の再犯防止に寄与したいとの気持ちから、お土産を購入する保護司の方も多く見受けられました。

保護観察中の青少年と日々接する施設長の体験談や姿勢に感銘を受け、今後の更生保護活動に活かしていきたいと思いました。



秋季研修 10月10日(火) 京都医療少年院

秋季研修は京都にある京都医療少年院に伺いました。

施設長から施設の概要や対象者、医療の内容についてご説明いただいた後、施設内を見学させていただきました。質疑応答の際には、心身に疾病がある少年に対する矯正教育の方法や生活設計、少年の様子等、質問が多く上がりました。

また、京都医療少年院は医療専門の施設であるため、施設内には内科や精神科等の診察室が多数並んでいましたが、廊下の壁紙には少年たちが作成したイラストや習字の作品等が多く飾られており、施設内の雰囲気をも明るくしていました。専門的な施設であったことから、見学を通じて多くの知見を得ることができました。

昨年は猛暑であったこともあり、当日に紅葉を見ることはできませんでしたが、移動中に宇治の景色を楽しんだり終始有意義な研修となりました。



主要事業の報告

第73回 社会を明るくする運動

～声をかけあい支え合い みんなでつくろう明るい社会～

犯罪や非行のない明るい社会を目指し、非行防止や更生保護について地域の人々の理解を得るため、吹田市では43の団体・機関で吹田市実施委員会を結成し、様々な活動を実施しました。

標語パネルの協賛募集

保護司や地域の皆様に標語パネルの掲示に協賛いただき、公民館や市民ホールなど、市内各所に掲示をいたしました。



市民集会

令和5年7月1日(土) 午後1時30分から吹田市文化会館(メイシアター)で開催

【講演会】

講師：佐藤 佳弘 氏

テーマ：「インターネット被害」から子どもを守るには
～子どもが危ない！スマホ社会～

ネットを悪用した犯罪やネットでのトラブルの事例を踏まえて、ネット被害から子どもを守るためにはどうすべきなのかご講演いただきました。



【演奏会】

出演：吹田市立千里丘中学校 吹奏楽部

テーマ：「美女と野獣」、「マードックからの最後の手紙」

1年生から3年生まで計84人による、パワフルな演奏をしていただきました。

演奏終了後には、会場全体から盛大な拍手が送られました。



地域集会

7月の強化月間を中心に、地域の特性や実情に沿って地域集会が開催されました。

今年度は、18地区で延べ569人の方が参加され、犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更生についての理解を深められました。



TEL 06-6836-7311 **FAX 06-6836-7391**

令和5年 吹田地区保護司会 事業報告

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

1 月

- 1 日 保護司会報吹田第45号発行
- 12 日 第3回地区保護司会代表者会議(会長出席)
大阪府保護司会連合会理事会(会長出席)
- 20 日 新年例会
- 24 日 退任保護司に対する法務大臣感謝状伝達式

2 月

- 1 日 「社会を明るくする運動」吹田市実施委員会役員会
- 6 日 理事会・例会・研修会

3 月

- 1 日 総務部会
- 2 日 理事会・例会・研修会
組織部会
研修部会
- 10 日 第4回地区保護司会代表者会議(会長出席)
大阪府保護司会連合会理事会(会長出席)
- 13 日 「社会を明るくする運動」吹田市実施委員会全体会

4 月

- 8 日 吹田BBS会総会
- 19 日 理事会・例会・研修会
組織部会
- 26 日 吹田地区更生保護女性会総会

5 月

- 11 日 第1回地区保護司会代表者会議(会長出席)
大阪府保護司会連合会理事会(会長出席)
- 15 日 令和5年度総会
- 24 日 退任保護司に対する法務大臣感謝状伝達式

6 月

- 19 日 北摂ブロック保護司会会長会議(幹事地区)(役員出席)
- 22 日 春季研修(更生保護法人 泉州寮ほか)

7 月

- 1 日 「社会を明るくする運動」市民集会
※各ブロックで「社会を明るくする運動」地域集会を開催
- 7 日 関西大学連携授業「吹田市と関西大学」にて講義を実施(副会長出席)

8 月

- 8 日 理事会・例会・研修会
研修部会

9 月

- 8 日 第2回地区保護司会代表者会議(会長出席)
大阪府保護司会連合会理事会(会長出席)
- 21 日 理事会・例会・研修会
- 22 日 北摂ブロック保護司会会長会議(会長、副会長、事務局出席)
- 29 日 保護司北摂ブロック合同親睦ゴルフ大会

10 月

- 2 日 吹田青年会議所との会合(会長、副会長、事務局出席)
- 10 日 秋季研修(京都医療少年院ほか)
- 18 日 吹田地区更生保護女性会秋季バザー
- 24 日 広報部会
- 31 日 大阪更生保護大会

11 月

- 6 日 吹田地区更生保護女性会管外研修会(神戸税関)
- 8 日 吹田青年会議所との会合(会長、副会長、事務局出席)
- 10 日 近畿地方保護司代表者協議会(会長出席)
- 17 日 広報部会
- 21 日 理事会・例会・研修会
研修部会

12 月

- 6 日 広報部会
- 15 日 北摂ブロック保護司会会長会議(会長、副会長、事務局出席)
- 26 日 理事会・例会・研修会
研修部会

編集後記

やっと春季と秋季の管外研修も復活し、紙面の設計に期待を寄せながら編集作業をさせていただきました。

表紙を飾る写真の候補は他にもありましたが、新しくなった施設を追いかけるより哀愁漂う風景を選ばせていただきました。その分、寄稿いただいた内容は、新年への期待が、一層大きいものだと感じました。